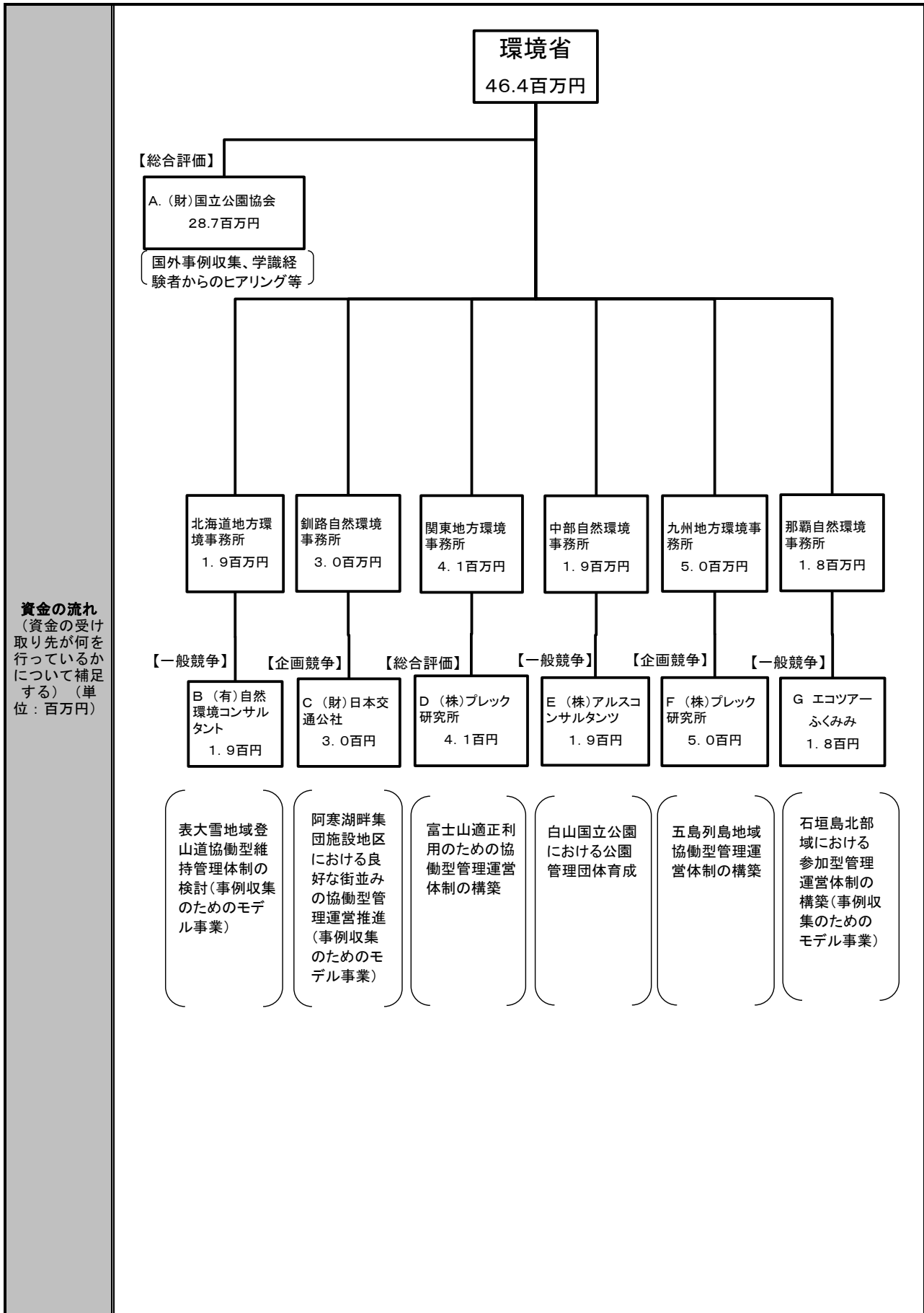


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国立公園等における協働型管理運営推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	国立公園課		課長 上杉 哲郎		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第1項、第49条第1項		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多様な主体との協働による管理運営の実現と効率的・効果的な利用計画の策定及び公園事業の執行により、質の高い国立・国定公園サービスを提供することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	対象とする国立公園において、多様な主体と公園の利用実態、課題等の情報を共有し、国立公園運営プランの策定や協働型の管理運営体制を構築する。また、民間の方々の参画を得るため、公園管理団体の新規指定や既指定の公園管理団体の支援を行う。それらの成果や国内・国外の事例調査を基に、全国の国定公園又は都道府県立自然公園に協働型の管理運営体制を導入していくための手引きを作成する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	0	0		
		繰越し等	—	—	0	0		
		計	—	—	55	83	70	
	執行額	—	—	46				
	執行率 (%)	—	—	85				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	本事業は、質の高い国立・国定公園サービスを提供するための検討を行うものであり、定量的な成果目標を示すことが出来ない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	協働型管理運営体制構築事業及び公園管理団体育成事業を実施する地域数		活動実績 (当初見込み)	地域	—	—	3 (4)	— (6)
			算出根拠		—			
単位当たりコスト	活動実績としては上記のとおりであるが、本事業は、各活動内容を考慮し、各公園の管理運営体制構築を検討することを目的としており、事業実施地数の多寡で単位当たりのコストを算出するのはなじまない。							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.1	0.7	協働型管理運営体制構築事業について人件費及び検討会回数の見直しにより経費を削減し概算要求額を減額。				
	鳥獣等保護費	83	69.5					
計	83	70	※四捨五入					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>質の高い国立公園・国定公園サービスを提供するためには、国立公園管理への多様な主体の参画が必要不可欠であり、本事業は国立公園・国定公園における管理運営体制のモデルとなることから、国が行うことが適当である。</p> <p>本業務における協働体制の構築・強化には、国内の事例や海外の事例を参考にしつつ実施していくことが重要であり、平成24年度は、事例収集により得られた情報を各公園にフィードバックするとともに、各公園の協働型管理運営体制構築の事業を踏まえた手引き作成を進める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	業務内容の精査・見直しを行い予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	協働型管理運営体制構築事業について人件費及び検討会回数の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)国立公園協会			E.(株)アルスコンサルタンツ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度国立公園における協働型管理運営推進事業	28.7	雑役務費	平成22年度白山国立公園管理団体育成事業	1.8
計		28.7	計		1.8
B.(有)自然環境コンサルタント			F.(株)ブレック研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度表大雪地域登山道協働型維持管理体制検討業務	1.9	雑役務費	平成22年度西海国立公園五島列島地域協働型管理運営体制構築業務	5.0
計		1.9	計		5.0
C.(財)日本交通公社			G.エコツアーふくみみ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度阿寒湖畔集団施設地区における良好な街並み協働型管理運営推進業務	3.0	雑役務費	平成22年度石垣島北部域における参加型管理運営体制構築に関するモデル事業	1.8
計		3.0	計		1.8
D.(株)ブレック研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度富士山適正利用のための協働型管理運営体制構築業務	4.1			
計		4.1	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国立公園協会	平成22年度国立公園における協働型管理運営推進事業	28.7	1	91

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)自然環境コンサルタント	平成22年度表大雪地域登山道協働型維持管理体制検討業務	1.9	4	63.8

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本交通公社	平成22年度阿寒湖畔集団施設地区における良好な街並み協働型管理運営推進業務	3.0	企画競争	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレック研究所	平成22年度富士山適正利用のための協働型管理運営体制構築業務	4.1	1	63.4

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アルスコンサルタンツ	平成22年度白山国立公園管理団体育成事業	1.9	1	99

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレック研究所	平成22年度西海国立公園五島列島地域協働型管理運営体制構築業務	5.0	企画競争	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エコツアーふくみみ	平成22年度石垣島北部域における参加型管理運営体制構築に関するモデル事業	1.8	6	82.1